

証券コード

5020

JXホールディングス

世界有数の「総合エネルギー・資源・素材企業グループ」へ

2011年11月20日

野村インベスター・リレーションズ株式会社主催
個人投資家向け会社説明会

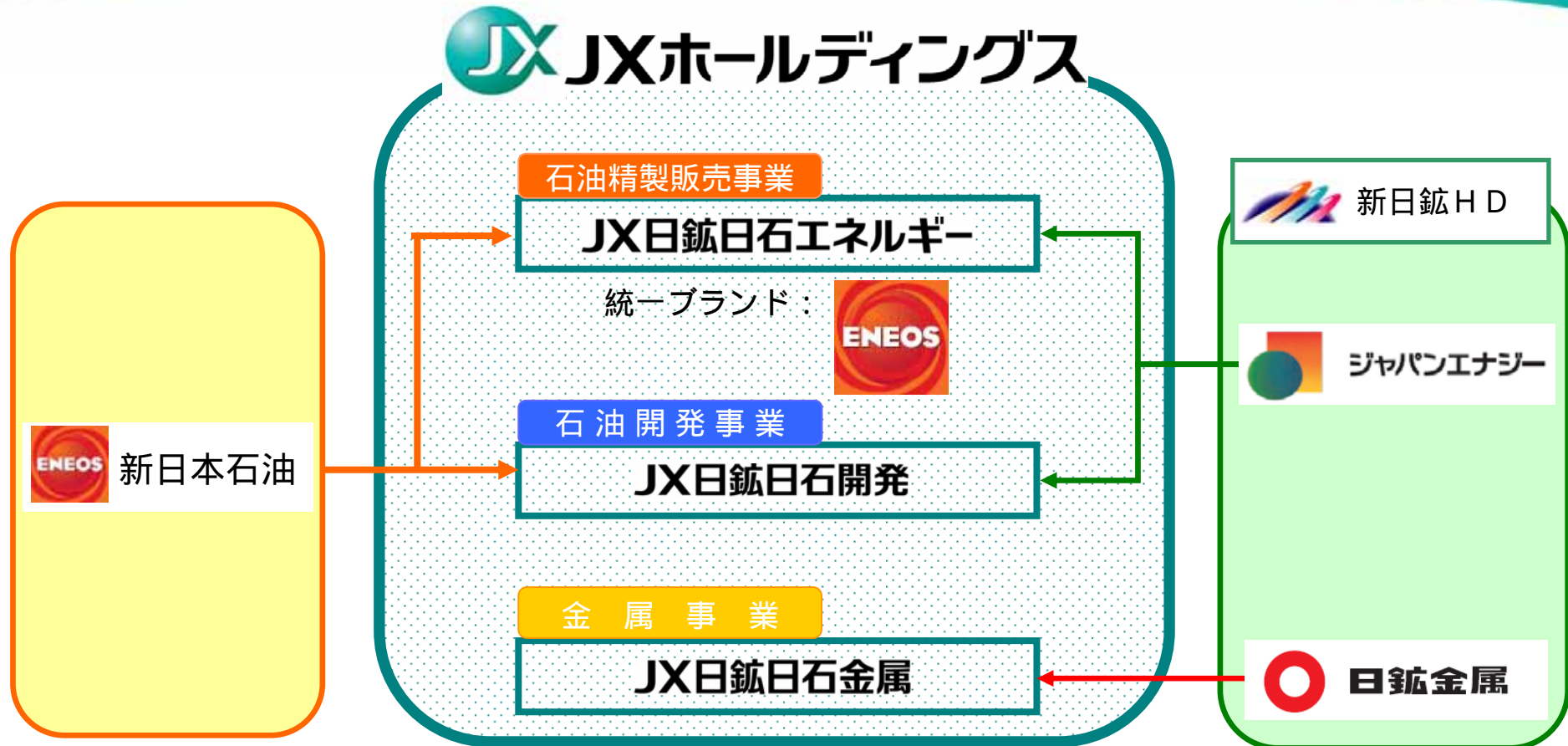
代表取締役社長 高萩 光紀



エネルギー・資源・素材の^{みらい}Xを。

JXホールディングス株式会社

- 本資料には、将来見通しに関する記述が含まれています。最終ページに注意事項を記載しています。 -



2010年度
連結業績

売上高： 9兆6,344億円
経常利益： 4,137億円

JXグループの理念



「JX」はJXグループ経営理念を象徴しています。
「J」は、日本を代表する世界有数の「総合エネルギー・資源・素材企業グループ」を表しています。
「X」は、未知への挑戦、未来への成長・発展、創造性・革新性などの意味が込められています。



JX JXホールディングス

石油精製販売

JX日鉱日石エネルギー

国内ガソリン 販売シェア



約**35%** (国内1位)

パラフィン(石油化学品)供給能力

262万トン/年 (アジア1位)



石油開発

JX日鉱日石開発

原油・天然ガス 権益生産量

約**14**万バレル/日

英国北海、米国メキシコ湾
中東、東南アジア など
世界各地で事業を展開



金 属

JX日鉱日石金属

銅地金 生産能力

117万トン/年

銅鉱山 鉱石権益生産量

約**10**万トン/年

電材加工 世界シェア1位の製品群



上場子会社

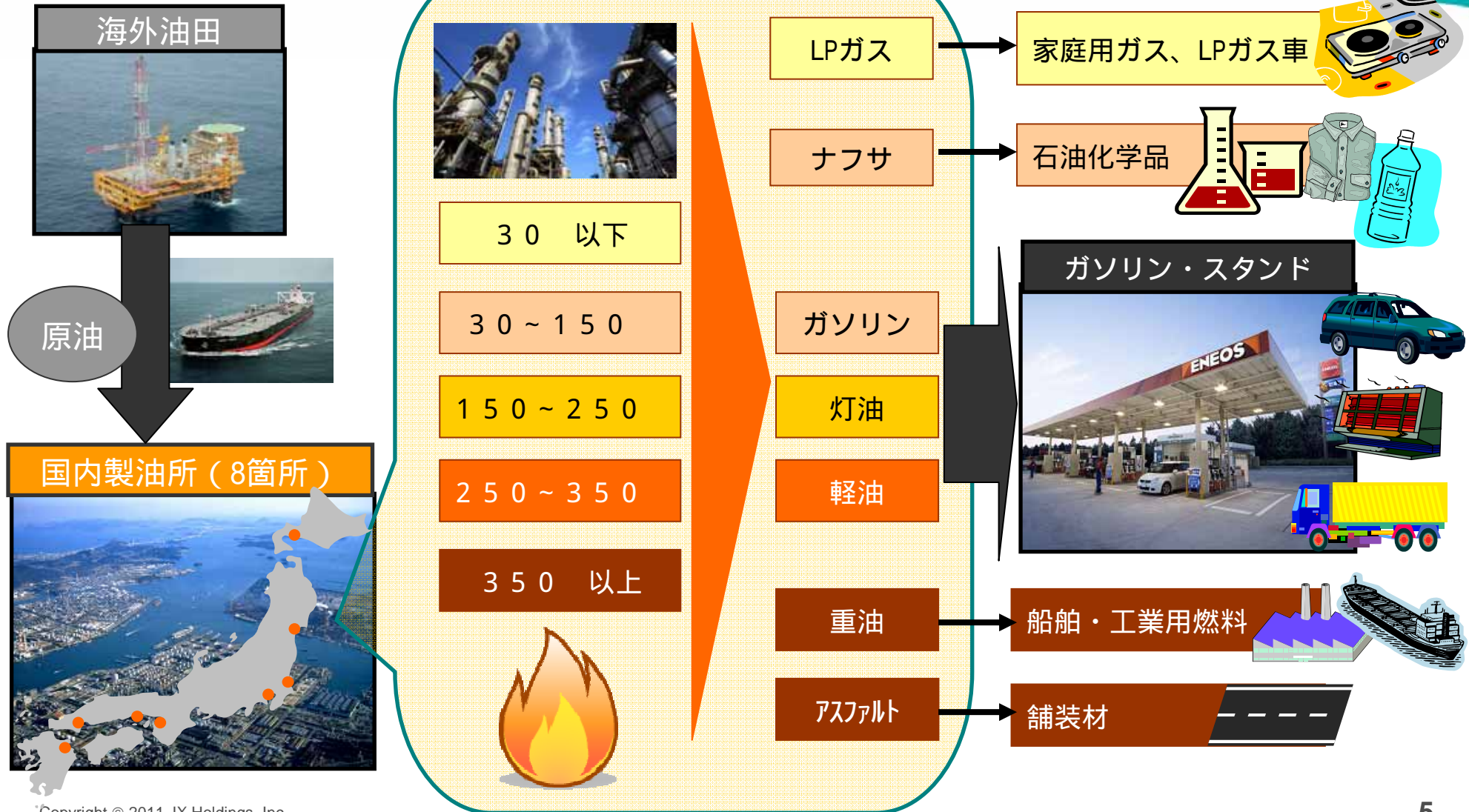
NIPPPO
東邦チタニウム

共通機能会社

個別事業会社

石油精製販売事業

生活に不可欠な各種石油製品を供給

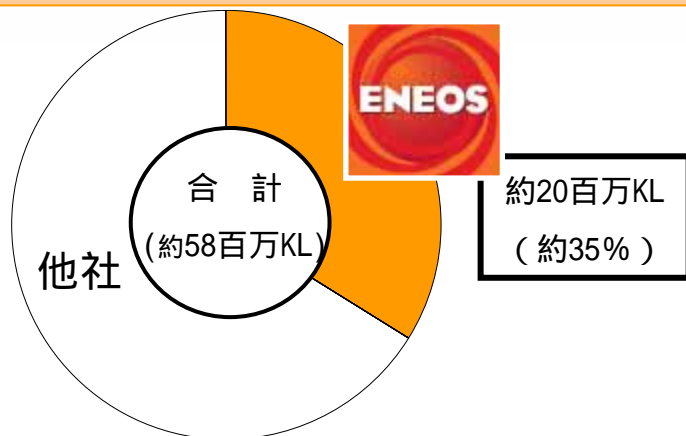


石油精製販売事業

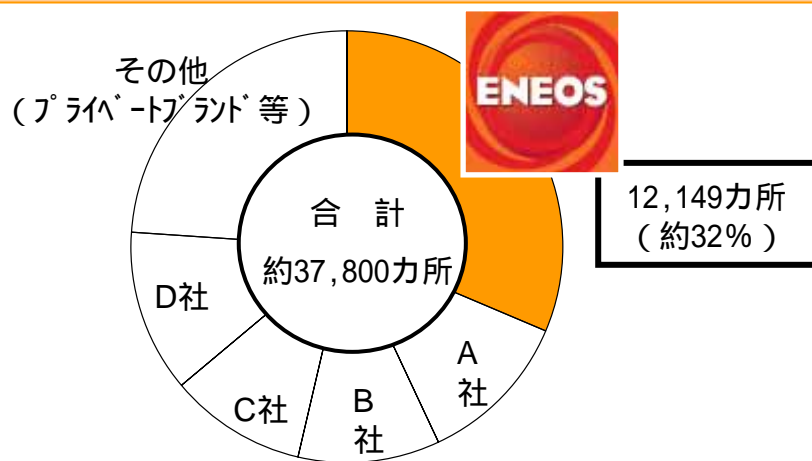
統合によって強固な事業体制を構築



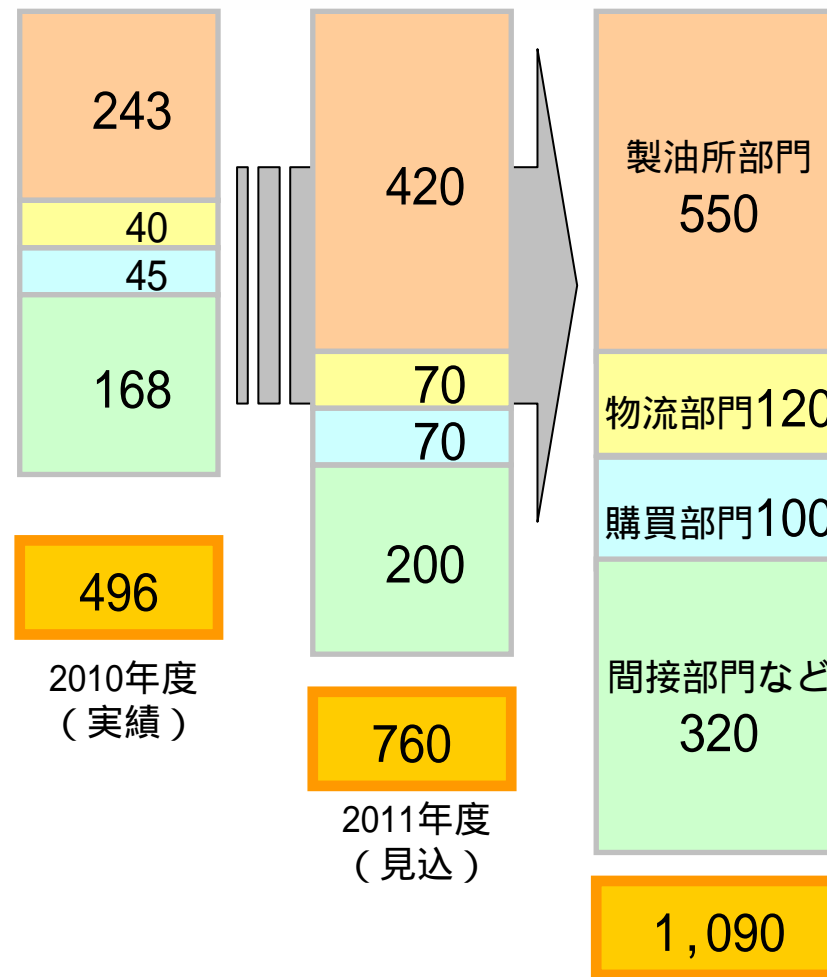
ガソリン販売シェア（2010年度）



全国ガソリン・スタンド数のシェア（2011年3月末）



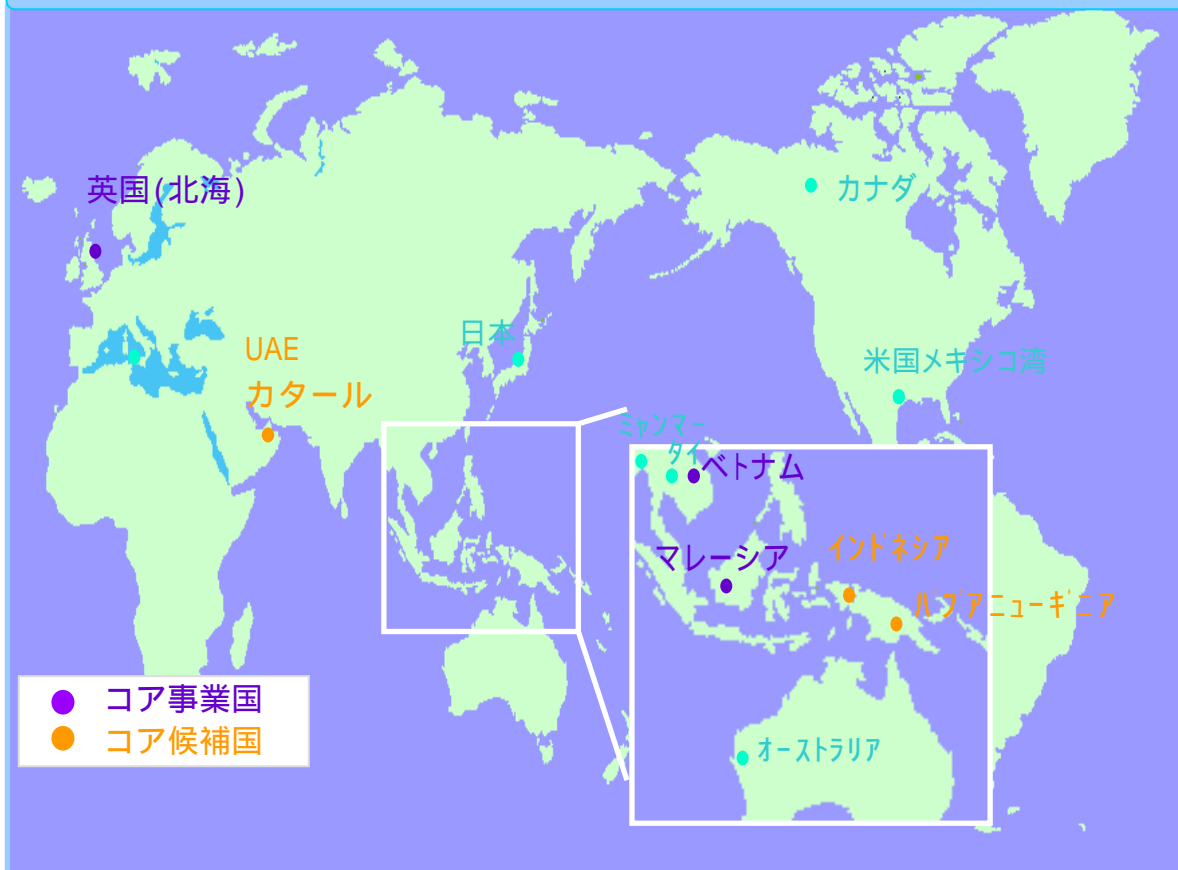
統合シナジーの創出（億円）



出典：石油連盟資料、燃料油脂新聞等より当社作成



活動エリア



原油・天然ガス生産量
(2010年度実績、原油換算数量)

米国	10
カナダ	15
英国	11
東南アジア	83
オセアニア	8
中東	13
合計	140 千バレル/日



世界有数の銅鉱山に出資、日本・韓国に製錬所を保有



銅鉱山

2010年実績

世界**6**位

ロス・ペランブレス (チリ) <15%>

エスコンディエーダ (チリ) <3%>

世界**4**位

コジャワシ (チリ) <3.6%>

注：< >内の%はJ X日鉱日石金属の出資比率

銅粗鉱
銅品位 1%前後



銅精鉱
銅品位 約30%

銅製錬所

(銅地金生産能力：117万トン/年)

パンパシフィック・銅パー <66%>

45万トン/年 佐賀製錬所(大分) 日立精銅工場(茨城)	16万トン/年 日比共同製錬 玉野製錬所(岡山)

LS-ニッコー・銅パー <39.9%>

56万トン/年
温山工場(韓国)

銅地金
銅品位 99.99%



電線



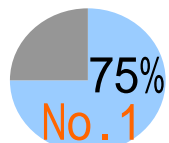
電子製品の
配線材料
(電子材料)



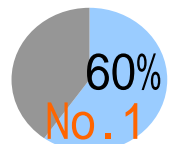
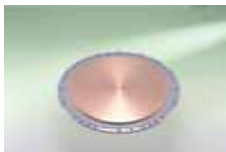
主な当社材料

世界シェア
(2010年現在)

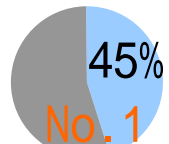
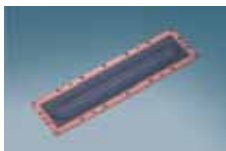
圧延銅箔



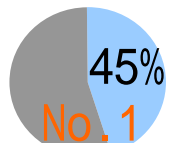
半導体用
ターゲット



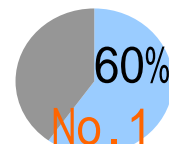
液晶用
ターゲット



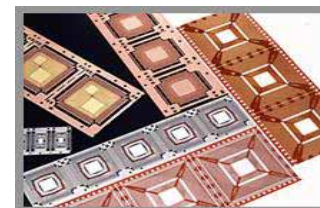
コルソン合金



チタン銅



電子部品



電子製品



2010年度決算と2011年度業績見通し

(新日石・新日鉱単純合算)

	2009年度 (実績)	2010年度 (実績)	2011年度 (11月見通し)
	(億円)	(億円)	(億円)
売上高	90,080	96,344	102,500
営業利益	1,304	3,344	2,600
営業外利益	569	793	700
経常利益	1,873	4,137	3,300
在庫影響除き経常利益	153	3,561	3,000
石油精製販売事業	1,358	1,965	1,400
石油開発事業	490	595	870
金属事業	454	703	610
上場子会社他	261	298	120
特別利益	353	* 1 65	* 2 300
当期純利益	731	3,117	1,700

* 1 : 統合に伴う負ののれん一括償却益2,265億円、震災関連費用 1,260億円 を含む

* 2 : 震災関連費用 250億円を含む

震災影響について



震災影響による特別損失

単位：億円

		2010年度 計上	2011年度 見込み	総額
石油精製 販売	仙台製油所、鹿島製油所ほか	1,170	250	1,420
金属	日立事業所、磯原工場（茨城県）ほか	80		80
上場 子会社他		10		10
JXグループ合計		1,260	250	1,510



鹿島製油所：
復旧した棧橋に入港した原油タンカー

被災拠点の復旧状況

金属の各工場（日立事業所、磯原工場ほか）は復興完了

鹿島製油所は6月初旬に生産再開し、ほぼ復興完了

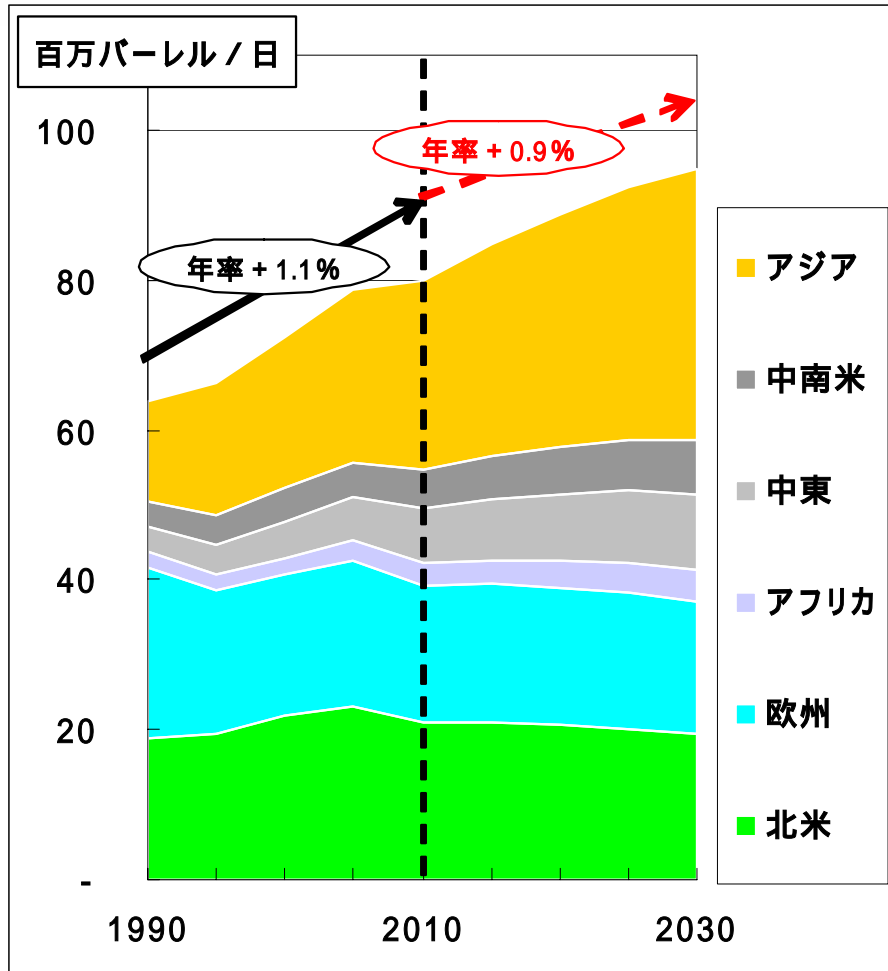
仙台製油所は出荷を再開、来年3月末までの生産再開を目指す



仙台製油所：
建設が進む陸上出荷設備



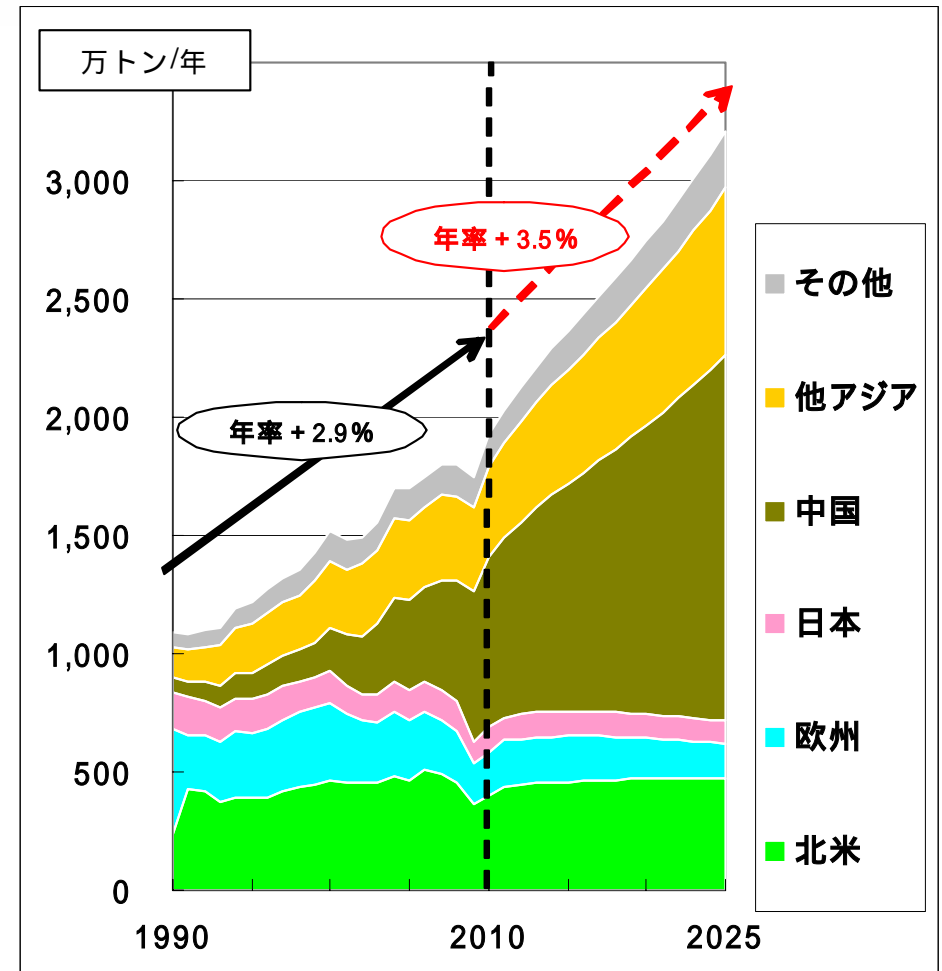
石油需要予測



出典：BP Statistical Review of World Energy 2011

Copyright © 2011 JX Holdings, Inc.

銅地金需要予測



出典：Brook Hunt

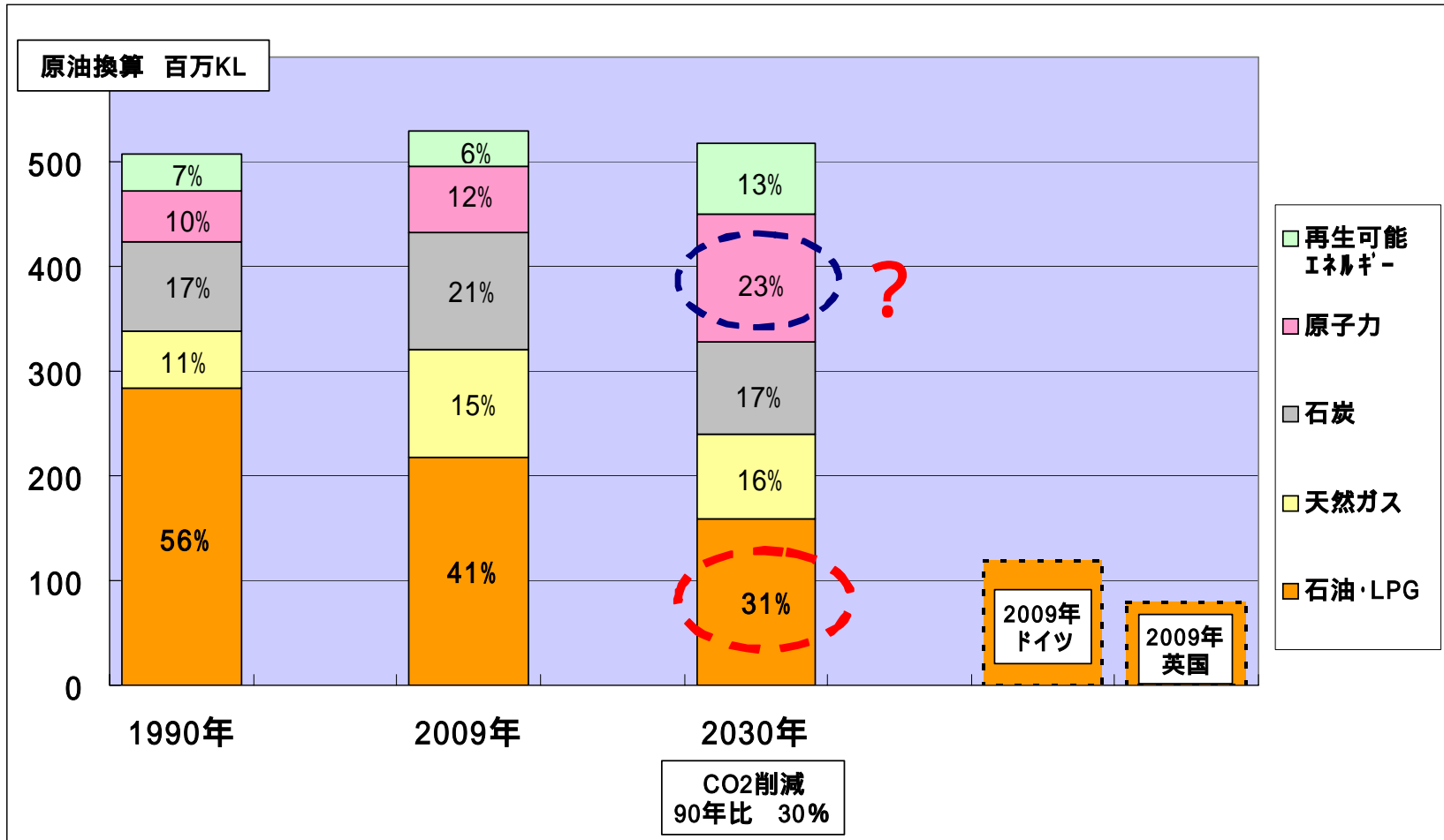


— ドバイ原油 (ドル/バレル) : 左軸

— LME銅地金 (ドル/トン) : 右軸



日本の一次エネルギー供給見通し（震災前2010年6月時点）



出典：経済産業省「2030年のエネルギーの姿」「長期エネルギー需給見通し」、BP Statistical Review などから当社作成



主な用途

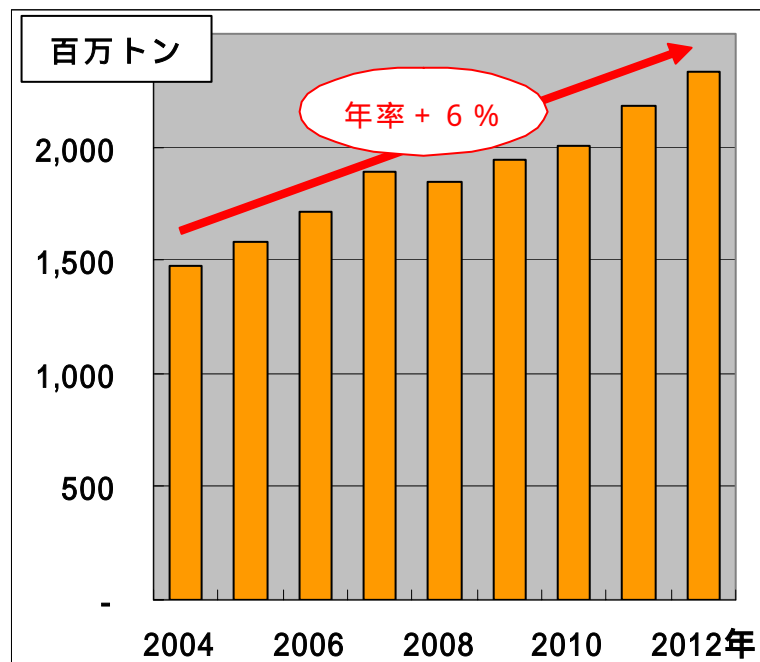


ポリエステル繊維



ペットボトル

アジア域内需要



JX日鉱日石エネルギーの供給能力
年間 262万トン
アジア1位

韓国合弁事業の概要

所在地： 韓国ウルサン広域市

生産能力： 年間約100万トン
(世界最大)

商業生産： 2014年開始予定

総投資額： 約800億円

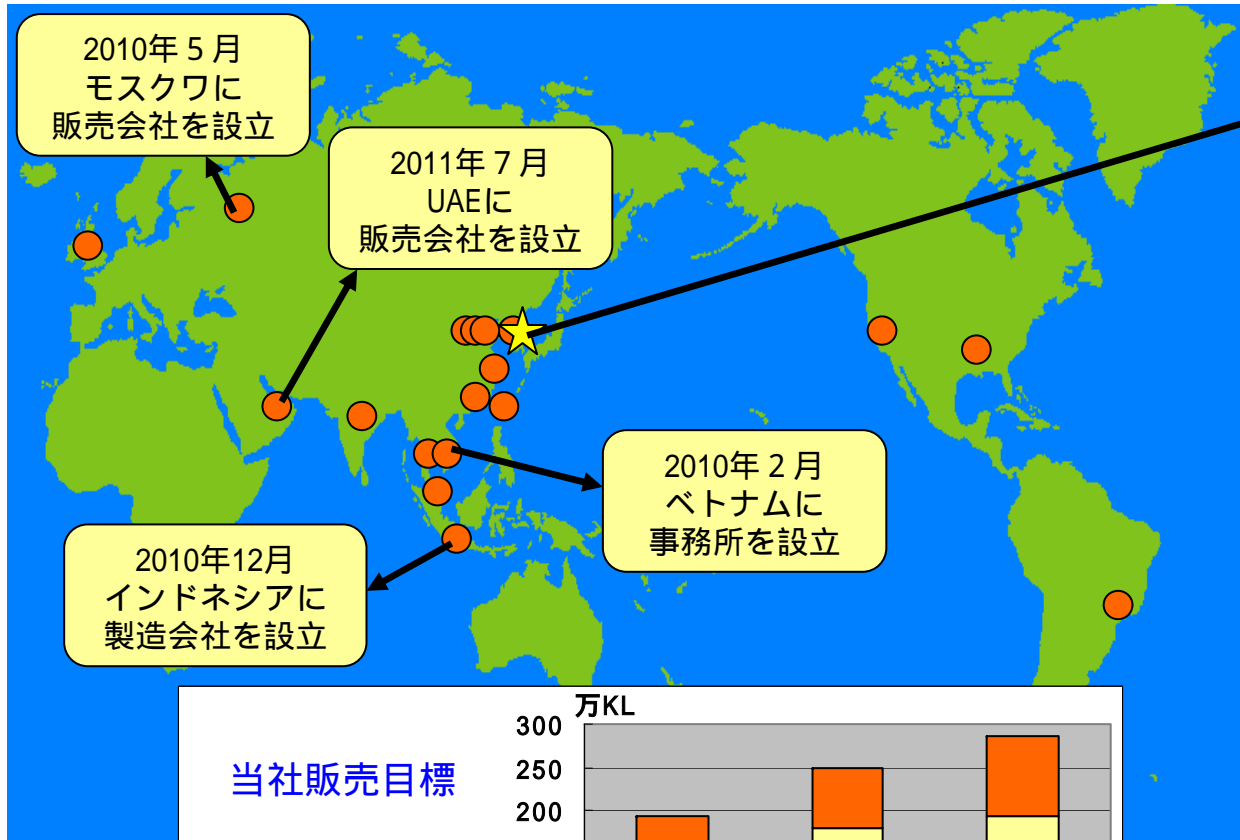
出資比率：

JX日鉱日石エネルギー 50%

韓国SKグループ 50%



● 当社の潤滑油関連拠点



韓国合弁事業の概要

所在地： 韓国ウルサン広域市

生産品：
自動車用最高グレード潤滑油基材

生産能力： 年間約135万KL

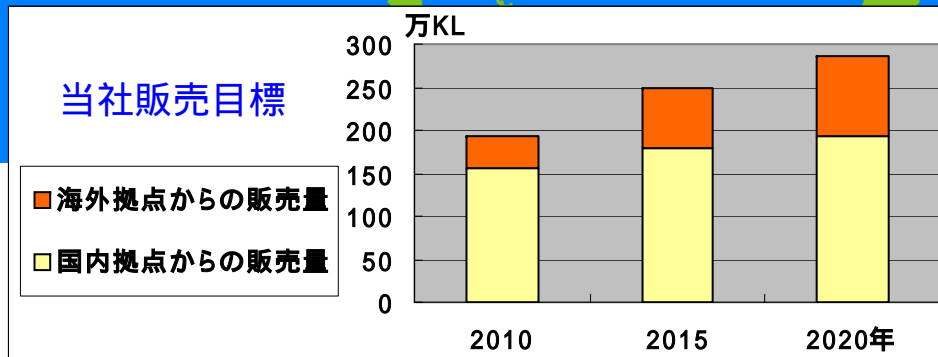
商業生産： 2012年開始予定

総投資額： 約280億円

出資比率：

JX日鉱日石エネルギー - 28%

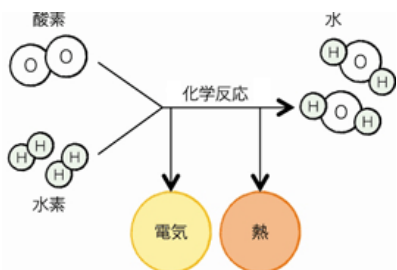
韓国SKグループ 72%





エネファームの特長

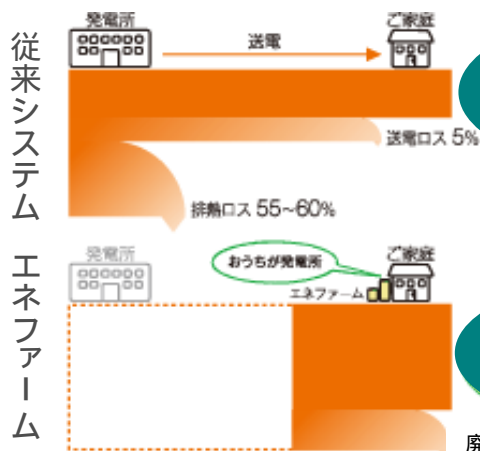
✓環境にやさしい



エネファームを1年間使用した場合

CO₂排出量 約43%削減
杉の木 約93本分 が吸収する CO₂量に相当

✓省エネ設計

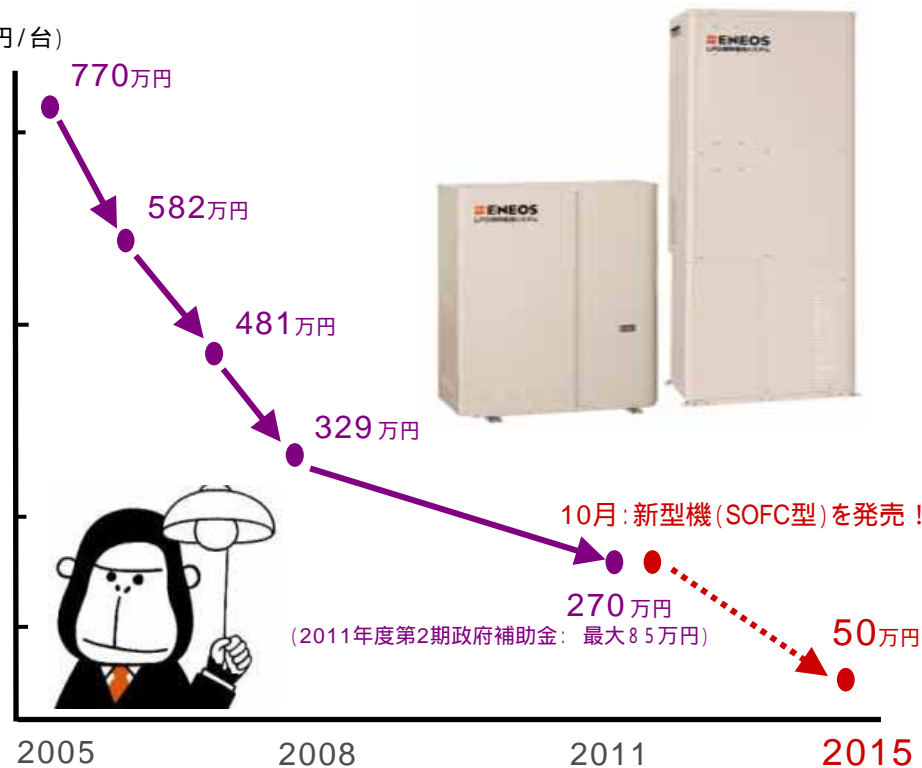


エネルギー効率 35-40%

エネルギー効率 85-87%

コストダウン目標 (本体価格)

(万円/台)



エネオス
エネゴリ
エネファーム

*エネファーム:
燃料電池実用化推進協議会による家庭用燃料電池の
業界統一名称 (LPガス・都市ガス・灯油仕様)

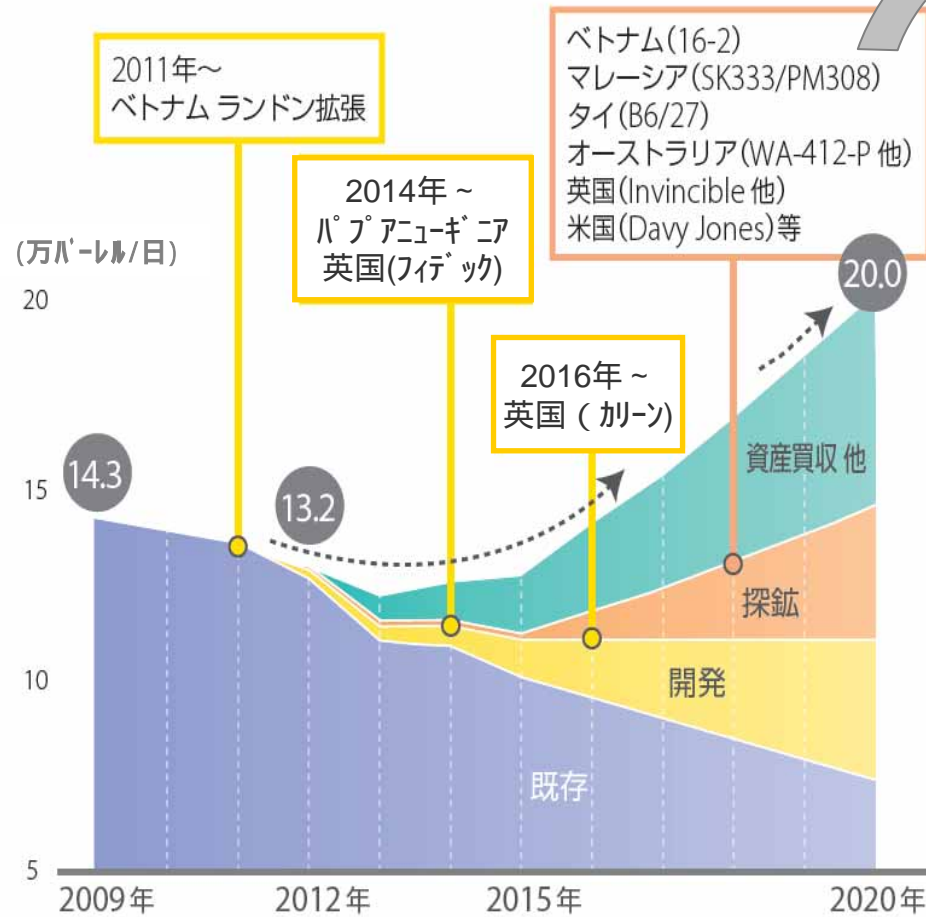
石油開発事業：

探鉱段階からの参画により将来の生産量を拡大



生産スケジュール / 投資計画

最近の成果



ベトナム(16-2)
マレーシア(SK333/PM308)
タイ(B6/27)
オーストラリア(WA-412-P 他)
英国(Invincible 他)
米国(Davy Jones)等

2011年~
ベトナム ランドン 拡張

2014年~
パプアニューギニア
英国(フィデック)

2016年~
英国(カーン)

国名(鉱区名) 種類

取得時期	国名(鉱区名)	種類	新規鉱区の取得	油・発見層の	広がり層の確認	生産権中更新の
2010年10月	英国(新規)					
2011年1月	ベトナム(16-2)	油				
2011年2月	UAE(新規+更新)	油				
	米国(Davy Jones)	G				
	ベトナム(05-1b/1c)	油G				
2011年3月	英国(カーン)	G				
2011年4月	オーストラリア(WA-290-P)	G				
	パプアニューギニア(PPL219)	油				
2011年5月	カタール(新規)	G				
	オーストラリア(WA-191-P)	油				
2011年7月	ベトナム(101-100/04)					

G=天然ガス

カセロネス銅鉱山（チリ）



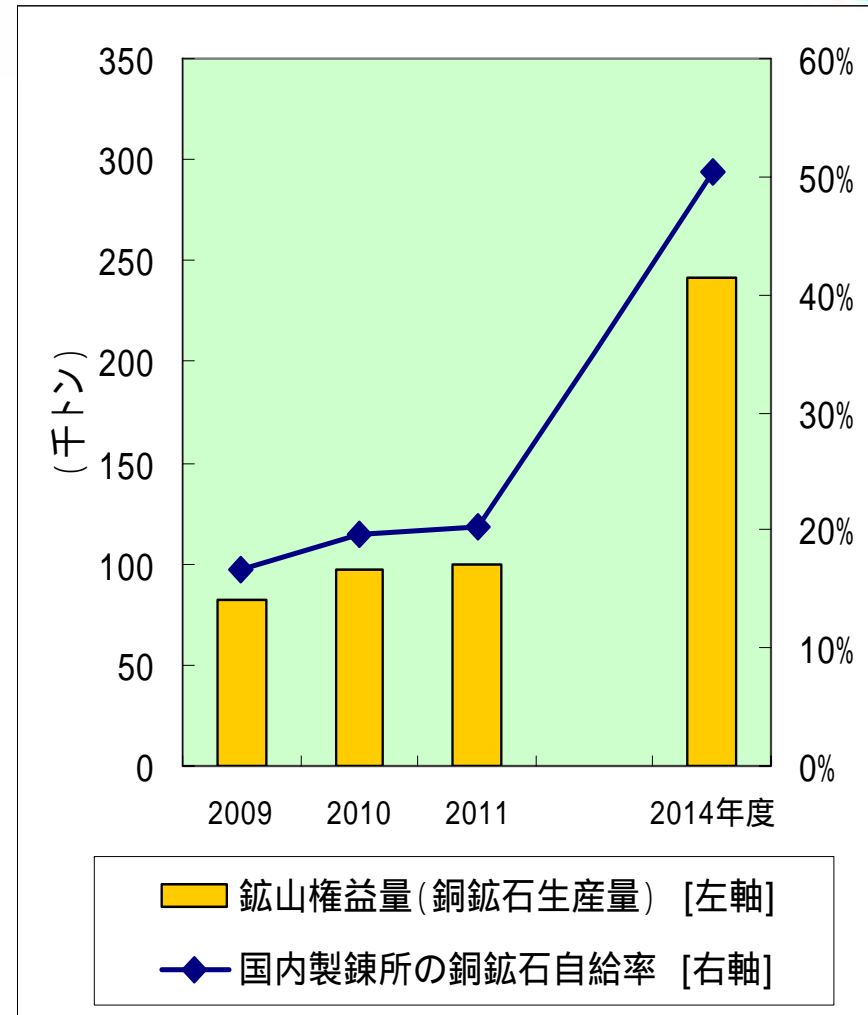
開発中！
2013年
生産開始

生産期間 2013～2040年（28年間）

生産量 28年間合計：355万トン（銅量）

年産約18万トン（当初10年間）

権益比率
 パンパシフィック・カッパー 75%
 （JX日鉱日石金属66%、三井金属34%）
 三井物産 25%



環境リサイクル事業による「都市鉱山」の発掘



HMC工場（茨城県日立市）

原材料例



携帯電話



電子基板屑

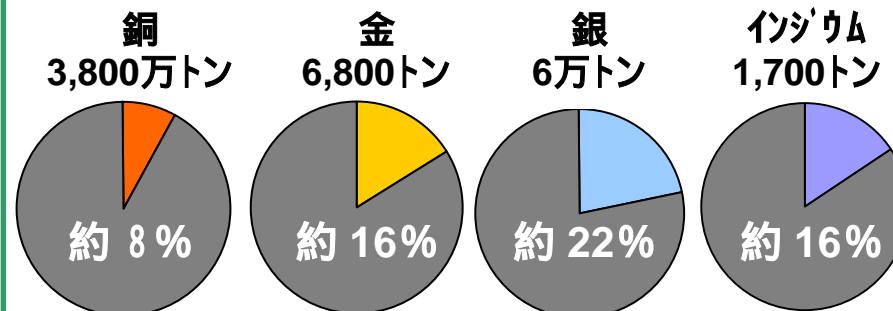


- 廃棄物を生み出さない独自のプロセス
- 貴金属・レアメタルなど16種類の有価金属を回収
- 電材加工事業における原材料の安定確保にも貢献



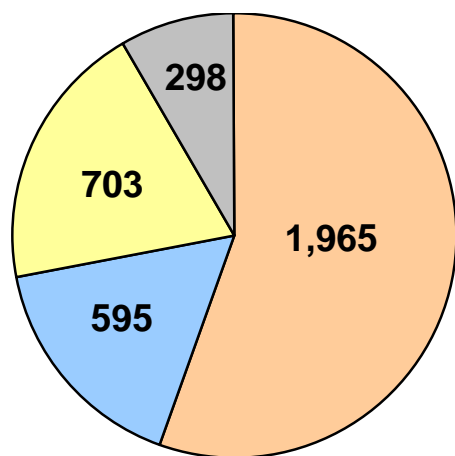
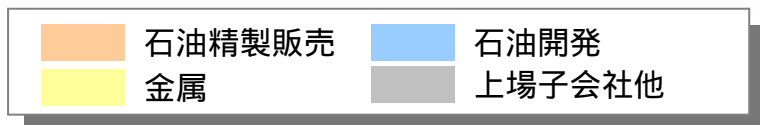
日本の都市鉱山規模

(独立行政法人 物質・材料機構の2008年1月推計)



% 数値は、世界の天然鉱山埋蔵量に対する比率

2015年度の事業ポートフォリオ



在庫影響除き経常利益

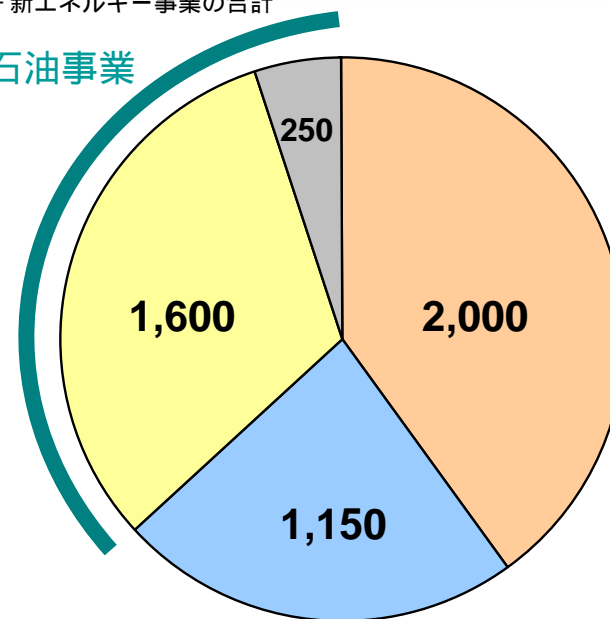
3,561億円

2010年度 (実績)

為替 86 円/ドル
 原油 82 ドル/バーレル
 銅価 369 セント/ポンド

金属 + 上場子会社他 + 新エネルギー事業の合計

非石油事業



5,000億円

2015年度 (ビジョン)

為替 90 円/ドル
 原油 90 ドル/バーレル
 銅価 300 セント/ポンド



配当に関する基本方針

連結業績を反映した利益還元の実施を基本としながら、
安定的な配当の継続に努めてゆく。

配当金

	中間	期末	年間
10年度	7.5 円	8.0 円	15.5 円
11年度	8.0 円	8.0 円 予定	16.0 円 予定

おわりに

株価推移

証券コード

5020



単元株は100株です！

JX Holdings Inc.
2011/11/14



(C) 2011 Yahoo Japan Corporation.

<http://stocks.finance.yahoo.co.jp>



参 考 资 料



2011年度 第2四半期 決算概要 (前年同期比)

* 3月から8月の平均 (到着ベース)

原油代(ドバイ)* (ドル/バレル)
銅 価 (セント/ポンド)
為替レート (円/ドル)

売上高
営業利益
営業外利益
経常利益
在庫影響除き経常利益
特別損益
当期純利益

2010年度 第2四半期 (実績)	
	76
暦年へ-ス (323)	324
暦年へ-ス (91)	89
(億円)	
	45,315
	764
	387
	1,151
	1,506
	2,225
	2,867

2011年度 第2四半期 (実績)	
	109
暦年へ-ス (426)	411
暦年へ-ス (82)	80
(億円)	
	50,796
	1,953
	434
	2,387
	1,639
	94
	1,267

差 異	
	+ 33
暦年へ-ス (+ 103)	+ 87
暦年へ-ス (9)	9
(億円)	
	+ 5,481
	+ 1,189
	+ 47
	+ 1,236
	+ 133
	2,319
	1,600



2011年度 第2四半期 セグメント別経常利益 (前年同期比)

	2010年度 第2四半期 (実績)	2011年度 第2四半期 (実績)	差 異
	(億円)	(億円)	(億円)
石油精製販売事業	428	1,425	+ 997
(うち在庫影響)	(352)	(732)	(+ 1,084)
在庫影響除き	780	693	87
(うち石油製品)	(770)	(449)	(321)
(うち石油化学製品)	(10)	(244)	(+ 234)
石油開発事業	321	519	+ 198
金属事業	305	388	+ 83
(うち在庫影響)	(3)	(16)	(+ 19)
在庫影響除き	308	372	+ 64
上場子会社 他	97	55	42
経常利益 計	1,151	2,387	+ 1,236
在庫影響除き	1,506	1,639	+ 133

NIPPOおよび東邦チタニウム

2011年度 通期見通し 概要

* 3月から2月の平均 (到着ベース)

原油代(ドバイ)* (ドル/バレル)

銅 価 (セント/ポンド)

為替レート (円/ドル)

売上高

営業利益

営業外利益

経常利益

在庫影響除き経常利益

特別損益

当期純利益

2011年度 見通し (5月公表)

101

暦年へ-ス
(395) 380

暦年へ-ス
(84) 85

(億円)

103,000

3,100

700

3,800

3,000

400

2,000

2011年度 見通し (11月見直し)

105

暦年へ-ス
(395) 366

暦年へ-ス
(80) 78

(億円)

102,500

2,600

700

3,300

3,000

300

1,700

差 異

+ 4

暦年へ-ス
(±0) 14

暦年へ-ス
(4) 7

(億円)

500

500

±0

500

±0

+ 100

300



2011年度 通期見通し セグメント別経常利益

	2011年度 見通し (5月公表)	2011年度 見通し (11月見直し)	差 異
	(億円)	(億円)	(億円)
石油精製販売事業	2,270	1,680	590
（うち在庫影響）	(800)	(280)	(520)
在庫影響除き	1,470	1,400	70
（うち石油製品）	(970)	(950)	(20)
（うち石油化学製品）	(500)	(450)	(50)
石油開発事業	750	870	+ 120
金属事業	680	630	50
（うち在庫影響）	(0)	(20)	(+ 20)
在庫影響除き	680	610	70
上場子会社 他	100	120	+ 20
経常利益 計	3,800	3,300	500
在庫影響除き	3,000	3,000	± 0

NIPPOおよび東邦チタニウム



セグメント別 業績サマリー (売上高・営業利益・経常利益・当期利益)

	2010年度		2011年度	
	上期	通期	上期	通期
	実績	実績	実績	見通し (11月)
売上高	45,315 億円	96,344 億円	50,796 億円	102,500 億円
石油精製販売事業	38,343	81,319	42,846	87,100
石油開発事業	771	1,488	958	1,800
金属事業	4,613	9,406	5,370	9,600
上場子会社 他	1,588	4,131	1,622	4,000
営業利益	764	3,344	1,953	2,600
石油精製販売事業	369	2,391	1,307	1,500
石油開発事業	249	519	488	770
金属事業	108	207	120	220
上場子会社 他	38	227	38	110
営業外利益	387	793	434	700
石油精製販売事業	59	146	118	180
石油開発事業	72	76	31	100
金属事業	197	500	268	410
上場子会社 他	59	71	17	10
経常利益	1,151	4,137	2,387	3,300
石油精製販売事業	428	2,537	1,425	1,680
石油開発事業	321	595	519	870
金属事業	305	707	388	630
上場子会社 他	97	298	55	120
当期純利益	2,867	3,117	1,267	1,700
石油精製販売事業			796	890
石油開発事業			273	400
金属事業			180	380
上場子会社 他			18	30

セグメント別 経常利益（詳細分析）

	2010年度		2011年度	
	上期	通期	上期	通期
	実績	実績	実績	見通し (11月)
	億円	億円	億円	億円
経常利益	1,151	4,137	2,387	3,300
石油精製販売事業	428	2,537	1,425	1,680
石油	770	1,692	449	950
石油化学	10	273	244	450
在庫影響	352	572	732	280
石油開発事業	321	595	519	870
金属事業	305	707	388	630
銅資源開発	165	441	228	335
銅製錬	57	128	66	130
環境リサイクル	24	40	36	65
電材加工	62	94	42	80
在庫影響	3	4	16	20
上場子会社 他*	97	298	55	120

前提条件

		2010年度		2011年度	
		上期	通期	上期	通期
		実績	実績	実績	見通し (11月)
共通	為替レート (円/ドル)	89	86	80	78
石油精製販売	ドバイ原油価格<年度> (ドル/パーレル)	76	82	109	105
	パラキシレンマージン (前月ドバイ比) (ドル/トン)	405	568	770	760
石油開発	原油相当販売数量 (千パーレル/日)	145	140	136	131
	ブレント原油価格<暦年> (ドル/パーレル)	77	80	111	109
金属	銅価格LME<暦年> (セント/ポンド)	323	342	426	395
	権益ベース精鋳銅量 (千トン/期・年)	46	97	47	97
	PPC銅販売量 (千トン/期・年)	304	588	286	589
	環境リサイクル金回収量 (トン/期・年)	3.6	6.5	3.6	7.1
	圧延銅箔販売量 (千km/月)	3.6	3.3	2.8	3.1
	精密圧延品生産品販売量 (千トン/月)	4.1	3.8	3.7	3.9



市況変動による影響額

前提条件（2011年5月公表時）

為替：85円 / ドル 原油：100ドル / バレル 銅価：380セント / ポンド
 （ドバイスポット）

市況変動による2011年度経常利益（5月公表時見通し）への影響額

項目	変動幅	変動項目	影響度	(億円)
為替レート	1円/ドル 円高	石油精製販売（エネルギーコスト減、石化マージン悪化等）	(-)	10
		石油開発	(-)	8
		金属（マージン悪化、為替換算差）	(-)	12
		小計	(-)	30
		在庫影響	(-)	60
		合計	(-)	90
原油FOB (ドバイスポット)	1ドル/バレル 上昇	石油精製販売（エネルギーコスト増等）	(-)	10
		石油開発	(+)	10
		小計		0
		在庫影響	(+)	70
		合計	(+)	70
銅価（LME）	10セント/ポンド 上昇	金属	(+)	20
		合計	(+)	20

将来見通しに関する注意事項

本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。かかる要因としては、

- (1) マクロ経済の状況またはエネルギー・資源・素材業界における競争環境の変化
- (2) 法律の改正や規制の強化、
- (3) 訴訟等のリスク など

が含まれますが、これらに限定されるものではありません。